

■コーナーのねらい：熊本城天守のエントランスとして来館者を出迎え、見学への期待を高めるものとして設置。

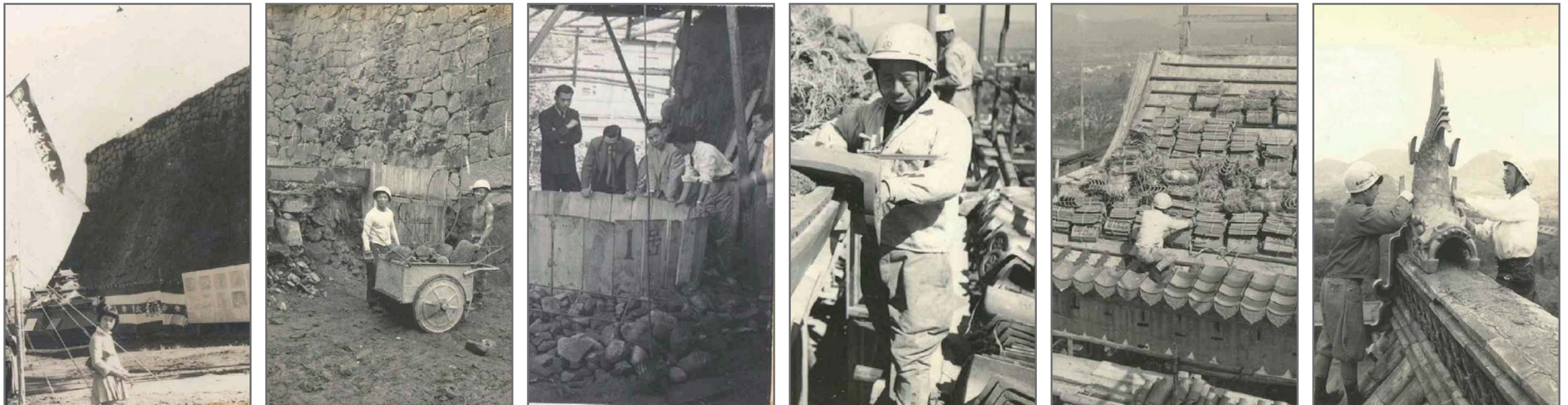
■映像上映形式：ループ映像で、2～3分程度。

■コンテンツコンセプト：今、見学者が立つ空間が出来上がる前の「ゼロ地点」（天守再建時点：昭和35年）から遡って見せることで、天守再建時点、またそこからさらに遡った焼失前の熊本城と見学者との間に「時代を超えた繋がり」をつくる。

■映像を通じて伝えることのポイント：

- ・今ある天守の構造物は「鉄筋コンクリートの再建」であることを知ってもらう（知らない方が多い）
- ・それとは逆に、石垣や井戸は当時からのものであることを強く印象付ける（再建前の更地の状態の写真を通し）
- ・写真を通して当時の当時の風俗（服装・履物など）を伝え、「日本が元気だった時代」「天守再建時の人々のパワー」を感じてもらう。
- ・再建工事中の写真を通じ、昭和35年の再建時の城に対する誇りや人々の喜びを伝え、またそれと今回の地震からの復興を喜ぶ気持ちを重ね、人々が城を大事に受け継いできた（またこれからも受け継いでいく）気持ちを伝える。
- ・再建工事中の写真の中に出てくる建築のディテールの意匠などを通して、見所を伝える。

映像イメージ


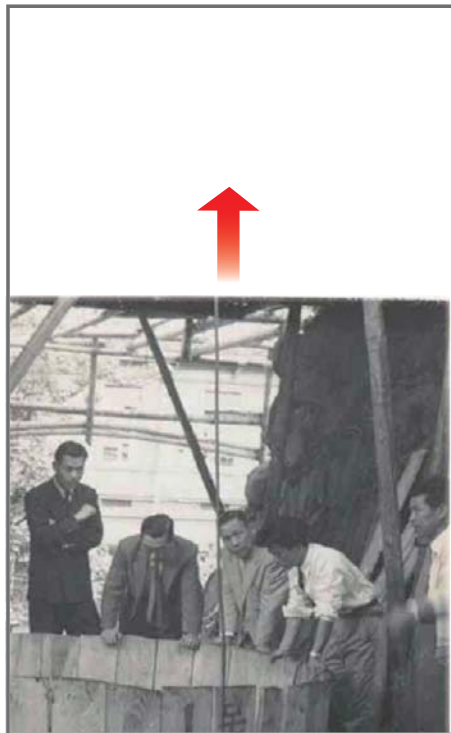
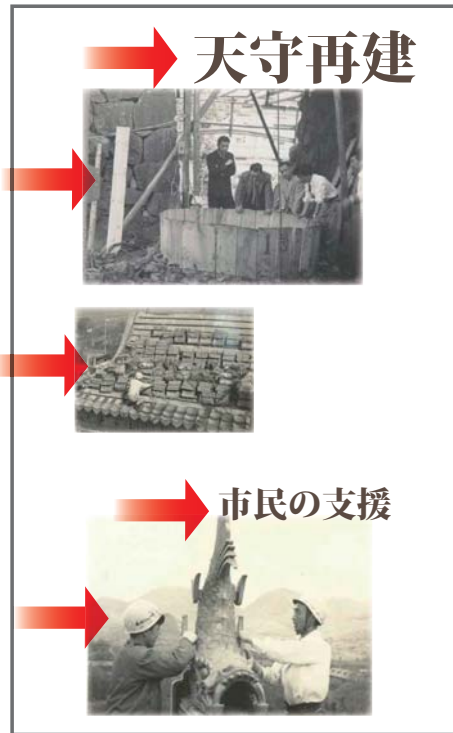
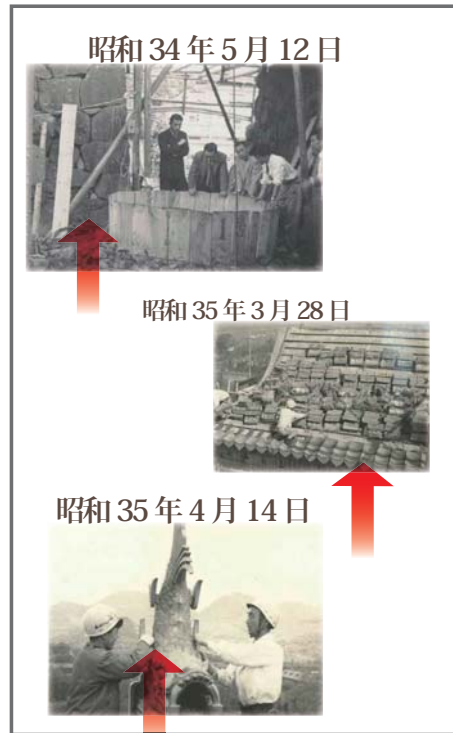




- コーナーのねらい**：熊本城天守のエントランスとして来館者を出迎え、見学への期待を高めるものとして設置。
- 映像上映形式**：ループ映像で、2～3分程度。
- コンテンツコンセプト**：今、見学者が立つ空間が出来上がる前の「ゼロ地点」（天守再建時点：昭和35年）から遡って見せることで、天守再建時点、またそこからさらに遡った焼失前の熊本城と見学者との間に「時代を超えた繋がり」をつくる。

■映像を通じて伝えることのポイント：

- ・今ある天守の構造物は「鉄筋コンクリートの再建」であることを知ってもらう（知らない方が多い）
- ・それとは逆に、石垣や井戸は当時からのものであることを強く印象付ける（再建前の更地の状態の写真を通し）
- ・写真を通して当時の当時の風俗（服装・履物など）を伝え、「日本が元気だった時代」「天守再建時の人々のパワー」を感じてもらう。
- ・再建工事中の写真を通じ、昭和35年の再建時の城に対する誇りや人々の喜びを伝え、またそれと今回の地震からの復興を喜ぶ気持ちを重ね、人々が城を大事に受け継いできた（またこれからも受け継いでいく）気持ちを伝える。
- ・再建工事中の写真の中に出てくる建築のディテールの意匠などを通して、見所を伝える。

映像イメージ

①	②	③	④	⑤	⑥
					
写真に文字情報を重ねる	写真が下からスクロールしながら映し出される	左から右に複数枚と言葉が同時にスクロールしてくる	撮影日と写真が下からスクロールしてくる	工事に携わった人の表情にズームアップする	作業風景にズームアップする